踊り流しに参加　～白河関まつり～

８月２日に開催された「白河関まつり」にて踊り流しが開催され、市議会としても参加をさせていただきました。当日は、例年の厳しい真夏の猛暑とは異なり、心地よい涼しい風が吹き抜ける絶好の祭り日和となりました。熱中症の心配も和らぎ、小さなお子様からご高齢の方まで、参加者も観客も終始笑顔で快適に過ごせる素晴らしい環境に恵まれたと感じております。「白河おどり」の軽快な音頭に合わせ、小峰通りを埋め尽くした各団体が息の合った見事な踊りを披露しました。それぞれの工夫を凝らした衣装や一糸乱れぬ動きは大変見応えがあり、沿道からは途切れることなく温かい拍手が送られていました。また、コンテストにおいては、白河信用金庫チームの皆様が最優秀賞を受賞されました。踊り流しを通じて、白河の伝統文化が世代を超えてしっかりと受け継がれていること、そして地域の絆の深さを改めて実感いたしました。市議会として、今後も地域の活性化と伝統の継承に微力ながら貢献してまいりたいと思います。





令和８年度　福島県市議会議員研修会に参加

８月４日、いわき市「パレスいわや」にて開催され、白河市議会から15名の議員が参加しました。早稲田大学デモクラシー創造研究所招聘研究員の議会事務局研究会共同代表の清水克士先生による「住民福祉の増進に向けて議会は何ができるか」について、講演を受講してきました。先生は元大津市議会事務局長として、長年にわたり地方自治体の議会事務局として経験があり大変的を得た講演の内容で大変参考になりました。



目指せ！ペーパーゼロ議会！

本市議会に１人１台のタブレット端末が導入されてから１年10カ月が経ちました。これまでは定例会ごとに、議案書や予算書、請願・陳情書などの膨大な書類が紙で配布されていましたが、タブレットの導入によりペーパーレス化が着実に進んでいます。

端末の操作スキルには個人差があることから、更なる「ペーパーレス、ペーパーゼロ」を目指して、議会独自の研修会を開催しました。

研修会の開催状況と内容

第１回（７月16日）：19名の議員が参加

第２回（10月６日）：14名の議員が参加

研修会では、模擬常任委員会の実施や、記録の記入方法など、各議員実践的な活用方法を学びました。これからもより効率的な議会運営に努めてまいります。

